

令和元年度 地域課題対応事業評価シート(高津区)

地域課題対応事業 予算コード						地域課題対応事業 予算小事業名称			
款	項	目	大	中	小				
11	01	05	26	50	05	区の新たな課題即応事業費(区役所内防犯カメラ整備事業)			
担当			所属コード		所属名		担当者	連絡先	
			671600		高津区役所まちづくり推進部総務課		磯崎悠祐	64113	

事業の概要											
事業の概要		カメラ記録装置の更新及び監視カメラの新設を行い高津区役所庁舎の防犯体制を整える。									
実施期間		事業開始年度	事業終了年度	予算中事業		区の新たな課題即応事業費					
		平成31年度	平成31年度								
地域の課題と現状		<p>現在区役所庁舎内に設置しているカメラの記録装置が故障し修理不能なため、カメラ映像を記録できない状態にある。現在の状態では、トラブルが起きてしまった際に事後検証の材料として録画映像を使用することで原因の解明、及びトラブル解決が困難になる可能性があるため早急に修繕する必要がある。</p> <p>また、横浜銀行派出所閉鎖に伴い、10月から庁舎2Fに入出金機を設置する。入出金機は金銭を扱う性質上トラブル発生の可能性が市役所内他設備と比べ高く、早急に新たに監視カメラ設置工事を行い、防犯体制を整える必要がある。</p>									
予決算 (単位:千円)	年度	H30年度		H31年度		R02年度		R03年度			
		予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額		
		事業費				1,820	1,820				
		財源内訳									
		一般財源				1,820	1,820				

計画 (Plan)	
事業の目的	カメラ記録装置の更新及び監視カメラ設置台数を増やし、防犯体制を整える。
今年度の事業の取組内容	カメラ記録装置の更新及び監視カメラの新設。

実施結果 (Do)									
上記取組内容に対する達成度	3	1. 目標を大きく上回って達成 2. 目標を上回って達成 3. ほぼ目標どおり 4. 目標を下回った 5. 目標を大きく下回った							
取組内容の実績等	カメラ記録装置の更新及び監視カメラの新設を実施した。								
数値で把握することが可能な取組	指標分類	指標			H30年度	H31年度	R02年度	R03年度	単位
	1	活動指標	カメラ記録装置チャンネル数	目標		16			ch
				実績		16			
	2	活動指標	監視カメラ設置台数	目標		14			台
				実績		14			
3	活動指標		目標						
			実績						
4	活動指標		目標						
			実績						

評価 (Check)	
事業を取り巻く社会環境の変化	暴力事件や恐喝などの犯罪が相次いで発生しており、庁舎内の犯罪抑制及びトラブル発生時の迅速な対応をするためにも監視カメラによる防犯体制の確保は必要がある。
事業の見直し・改善内容	<input type="checkbox"/> 実施(直近) 年度 <input checked="" type="checkbox"/> 今後実施(令和2年度から)
具体的見直し・改善内容 ※過去に見直した履歴も記載できる場合は記載	庁舎内防犯体制の更なる確保のため、監視カメラを増設する必要性の有無について検討を進めていく。

評価項目				評価	
必要性	事業を取り巻く社会環境の変化等により、事業に対するニーズが薄れていないか			a. 薄れていない b. 薄れている	a
	評価の理由	犯罪抑制及びトラブル発生時の対応の為に、カメラ記録装置更新及び監視カメラの設置は必要である。			
有効性	活動結果(活動指標等)に対し事業の成果(成果指標等)は順調に上がっているか			a. 上がっている b. 上がっていない	a
	評価の理由	カメラ記録装置更新及び監視カメラの新設もより、より堅実な庁舎内の防犯体制の確保が出来た。			
効率性	事業の成果を維持しながら、役割分担、契約方法、仕様の見直しなどによる経費削減や事務手続きの見直しなどによる事務改善の可能性はあるか			a. 可能性はない b. 可能性はある	b
	評価の理由	庁舎内防犯体制の更なる確保のため、監視カメラを増設する必要性の有無について検討を進めていく。			

改善 (Action)			
今後の事業の方向性	方向性区分	方向性	実施結果(Do)や評価(Check)を踏まえた今後の方向性
	I. 現状のまま継続 II. 見直し・改善のうえ継続 III. 事業終了	II	カメラ記録装置の更新及び監視カメラ設置台数を増やし、防犯体制の確保が出来た。今後は庁舎内防犯体制の更なる確保のため、監視カメラを増設する必要性の有無について検討を進めていく。

令和元年度 地域課題対応事業評価シート(高津区)

地域課題対応事業 予算コード						地域課題対応事業 予算小事業名称			
款	項	目	大	中	小				
11	01	05	26	50	05	区の新たな課題即応事業費(面接室等の緊急呼び出し対応事業)			
担 当			所属コード		所属名		担当者	連絡先	
			671600		高津区役所まちづくり推進部総務課		磯崎悠祐	64113	

事業の概要											
事業の概要		防犯ブザーの新設を行う。									
実施期間		事業開始年度		事業終了年度		予算中事業		区の新たな課題即応事業費			
		平成31年度		平成31年度							
地域の課題と現状		高津区役所では、市民応対時に各階フロアに設置された面接室等を使用しているが、部屋によっては各課事務室から離れた位置に配置されている。 また、相談カウンターは事務室の入口部分にあるが、階によっては事務室から奥に長く位置しており、奥の席とカウンターは相当離れた位置となってしまう。 面接室や相談カウンターで、市民と応接中に、市民の体調不良等の緊急時に迅速に対応するため、面接室やカウンターでの異変を事務室にいる職員が瞬時に状況把握する必要がある。 このため、各面接室及びカウンター等に呼び出しコールのスイッチを設置し、事務室内に設置の受信機でブザーを鳴らすことで、異変を覚知できる体制を構築する。									
予決算 (単位:千円)		年度		H30年度		H31年度		R02年度		R03年度	
		事業費		予算額		決算額		予算額		決算額	
財源内訳		国庫支出金				350		350			
市債											
その他特財											
一般財源				350		350					

計画 (Plan)	
事業の目的	防犯ブザーの新設を行い、防犯体制の確保をする。
今年度の事業の取組内容	防犯ブザーの新設。

実施結果 (Do)										
上記取組内容に対する達成度	3 1. 目標を大きく上回って達成 2. 目標を上回って達成 3. ほぼ目標どおり 4. 目標を下回った 5. 目標を大きく下回った									
取組内容の実績等	防犯ブザーの新設を実施した。									
数値で把握することが可能な取組	指標分類	指 標				H30年度	H31年度	R02年度	R03年度	単位
	1 活動指標	防犯ブザー	目標		25					箇所
	実績			25						
	2 活動指標		目標							
	実績									
3 活動指標		目標								
実績										
4 活動指標		目標								
実績										

評価 (Check)			
事業を取り巻く社会環境の変化	防犯体制の確保や緊急時の対応のため、防犯設備の充実と合理的配慮の必要性について社会的要請が高まっている。		
事業の見直し・改善内容	<input checked="" type="checkbox"/> 実施(直近) 年度 <input type="checkbox"/> 今後実施(年度から)		
具体的見直し・改善内容 ※過去に見直した履歴も記載できる場合は記載	防犯ブザー等、館内における他の防犯設備について充実を図っていく。		
評価項目			
必要性	事業を取り巻く社会環境の変化等により、事業に対するニーズが薄れていないか	a. 薄れていない b. 薄れている	a
	評価の理由	防犯体制の確保や緊急時に迅速な対応をするためにも、防犯ブザーの設置は必要である。	
有効性	活動結果(活動指標等)に対し事業の成果(成果指標等)は順調に上がっているか	a. 上がっている b. 上がっていない	a
	評価の理由	防犯ブザー設置により、より堅実な庁舎内防犯体制の確保が出来た。	
効率性	事業の成果を維持しながら、役割分担、契約方法、仕様の見直しなどによる経費削減や事務手続きの見直しなどによる事務改善の可能性はあるか	a. 可能性はない b. 可能性はある	b
	評価の理由	今後防犯体制充実のため、防犯ブザーを増設する必要性の有無について検討を進めていく。	

改善 (Action)			
今後の事業の方向性	方向性区分	方向性	実施結果(Do)や評価(Check)を踏まえた今後の方向性
	I. 現状のまま継続 II. 見直し・改善のうえ継続 III. 事業終了	II	防犯ブザー設置により、庁舎内防犯体制の確保が出来た。 また、今後防犯ブザー等、館内における他の防犯設備について充実を図っていく。

令和元年度 地域課題対応事業評価シート(高津区)

地域課題対応事業 予算コード						地域課題対応事業 予算小事業名称			
款	項	目	大	中	小				
11	01	05	26	50	05	区の新たな課題即応事業費(区役所内バリアフリー設備整備事業)			
担当			所属コード		所属名		担当者	連絡先	
			671600		高津区役所まちづくり推進部総務課		磯崎悠祐	64113	

事業の概要										
事業の概要		点字ブロックの新設を行う。								
実施期間		事業開始年度	事業終了年度	予算中事業		区の新たな課題即応事業費				
		平成31年度	平成31年度							
地域の課題と現状		現在高津区役所庁舎内に設置している誘導ブロックにおいて、誘導ブロック間の連続性を確保出来ていない状態にある。現在の状態では視覚障害者等が施設利用する際に、怪我等のトラブルが発生する恐れがある。そのため早急に工事を行う必要がある。								
予決算 (単位:千円)	年度	H30年度		H31年度		R02年度		R03年度		
		事業費	予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額
		国庫支出金			656	656				
		市債								
		その他特財 一般財源			656	656				

計画 (Plan)	
事業の目的	点字ブロックの新設を行う。
今年度の事業の取組内容	点字ブロックの新設。

実施結果 (Do)									
上記取組内容に対する達成度	3	1. 目標を大きく上回って達成 2. 目標を上回って達成 3. ほぼ目標どおり 4. 目標を下回った 5. 目標を大きく下回った							
取組内容の実績等	点字ブロックの新設を実施した。								
数値で把握することが可能な取組	指標分類	指標			H30年度	H31年度	R02年度	R03年度	単位
	1	活動指標	点字ブロック	目標		2			箇所
				実績		2			
	2	活動指標		目標					
				実績					
3	活動指標		目標						
			実績						
4	活動指標		目標						
			実績						

評価 (Check)			
事業を取り巻く社会環境の変化	障害者差別解消法の施行に伴い、障害者対応設備の充実と合理的配慮の必要性について社会的要請が高まっている。		
事業の見直し・改善内容	<input type="checkbox"/> 実施(直近) 年度 <input checked="" type="checkbox"/> 今後実施(令和2年度から)		
具体的な見直し・改善内容 ※過去に見直した履歴も記載できる場合は記載	点字ブロック等、館内の他の障害者対応設備について充実を図っていく。		
評価項目		評価	
必要性	事業を取り巻く社会環境の変化等により、事業に対するニーズが薄れていないか	a. 薄れていない b. 薄れている	a
	評価の理由	障害者対応設備の充実が障害者差別解消の観点からも、社会的要請が求められている。	
有効性	活動結果(活動指標等)に対し事業の成果(成果指標等)は順調に上がっているか	a. 上がっている b. 上がっていない	a
	評価の理由	今後、将来にわたって来館者へのサービス向上が図られるため、一定の成果があったと考えられる。	
効率性	事業の成果を維持しながら、役割分担、契約方法、仕様の見直しなどによる経費削減や事務手続きの見直しなどによる事務改善の可能性がある。	a. 可能性はない b. 可能性はある	b
	評価の理由	今後施設内障害者対応設備充実のため、点字ブロックを増設する必要性の有無について検討を進めていく。	

改善 (Action)		
今後の事業の方向性	方向性区分	方向性
	I. 現状のまま継続 II. 見直し・改善のうえ継続 III. 事業終了	II
実施結果(Do)や評価(Check)を踏まえた今後の方向性		
点字ブロックの新設を行った。また、今後点字ブロック等、館内の他の障害者対応設備について充実を図っていく。		

令和元年度 地域課題対応事業評価シート(高津区)

地域課題対応事業 予算コード						地域課題対応事業 予算小事業名称			
款	項	目	大	中	小				
58	05	25	26	50	05	区の新たな課題即応事業費(かすみ堤緊急安全対策事業)			
担 当			所属コード		所属名		担当者	連絡先	
			671650		企画課		原	64123	

事業の概要											
事業の概要		かすみ堤の保全活用に係る安全施設等整備工事として、かすみ堤の河川占用に際し必要となるフェンスの設置等を行う。									
実施期間		事業開始年度		事業終了年度		予算中事業		区の新たな課題即応事業費			
		令和元年度		令和元年度							
地域の課題と現状		かすみ堤については、国により保全され、川崎市が河川占用許可により維持管理していくこととなった。国との協議により占用物件の取扱が定まり、管理の方向性について地元住民の合意が得られたことにより、新たに安全施設等を整備する必要が生じた。占用許可がされると、当該土地の管理は市が負うこととなるため、安全施設等の整備は速やかに行う必要がある。									
予決算 (単位:千円)	年度	H30年度		R01年度		R02年度		R03年度			
		予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額		
	財源内訳	事業費				1,458	1,430				
		国庫支出金									
	市債										
	その他特財										
	一般財源			1,458	1,430						

計画 (Plan)	
事業の目的	かすみ堤の保全活用にに向けた適正な維持管理を行うことができるよう、河川占用に伴い必要となる安全施設等の整備を行う。
今年度の事業の取組内容	かすみ堤の保全活用に係る安全施設等整備工事の実施。

実施結果 (Do)										
上記取組内容に対する達成度		3	1. 目標を大きく上回って達成 2. 目標を上回って達成 3. ほぼ目標どおり 4. 目標を下回った 5. 目標を大きく下回った							
取組内容の実績等		・既存単管パイプ柵の撤去 ・フェンス柵の設置 ・車止めの設置								
数値で把握することが可能な取組		指標分類	指 標			H30年度	R01年度	R02年度	R03年度	単位
		1		目標						
				実績						
		2		目標						
				実績						
		3		目標						
実績										
4		目標								
		実績								

評価 (Check)			
事業を取り巻く社会環境の変化		高津区市議会議員懇談会からは、かすみ堤の利活用に向けた検討を進めることが要望されている。また、平成30年度に策定された「これからのコミュニティ施策の基本的考え方」では、市民創発による地域づくりに向けて、「公共施設の地域化」等による「まちのひろば」の創出の方向性が示されている。	
事業の見直し・改善内容		<input type="checkbox"/> 実施 (直近) 年度 <input type="checkbox"/> 今後実施(年度から)	
具体的な見直し・改善内容 ※過去に見直した履歴も記載できる場合は記載			
評価項目		評価	
必要性	事業を取り巻く社会環境の変化等により、事業に対するニーズが薄れていないか	a. 薄れていない b. 薄れている	a
	評価の理由	市が管理することによりかすみ堤の利活用を進めていく必要があることから、適正な管理体制の整備へのニーズは高いものと考えられます。	
有効性	活動結果(活動指標等)に対し事業の成果(成果指標等)は順調に上がっているか	a. 上がっている b. 上がっていない	a
	評価の理由	適正な維持管理に資する安全施設の整備を予定通り行うことができている。	
効率性	事業の成果を維持しながら、役割分担、契約方法、仕様の見直しなどによる経費削減や事務手続きの見直しなどによる事務改善の可能性がある。	a. 可能性はない b. 可能性はある	a
	評価の理由	単年度の事業であり、必要な安全施設の整備は完了している。	

改善 (Action)		
今後の事業の方向性	方向性区分	実施結果(Do)や評価(Check)を踏まえた今後の方向性
	I. 現状のまま継続 II. 見直し・改善のうえ継続 III. 事業終了	III

令和元年度 地域課題対応事業評価シート(高津区)

地域課題対応事業 予算コード						地域課題対応事業 予算小事業名称			
款	項	目	大	中	小				
58	05	25	26	50	05	区の新たな課題即応事業(窓口順番表示システム設置事業)			
担当			所属コード		所属名		担当者	連絡先	
			675250		高齢・障害課		松澤	64617	

事業の概要									
事業の概要		高齢・障害課障害者支援係及び精神保健係の窓口では非常勤職員や窓口対応職員が一人一人の用件を聞き取りその内容により担当に繋ぐ流れで対応しているが、その用件の聞き取りを待っていた状況があり混雑し、順番も混乱している状況が生じている。障害のある方やその家族が来庁する相談窓口として、目や耳の不自由な方や精神的に不安定な方等が順番を視認や音声呼び出しすることは窓口環境の向上に繋がり、混雑改善を目的として、新しい順番表示システムを導入したい。							
実施期間		事業開始年度 令和元年度		事業終了年度 令和元年度		予算中事業		区の新たな課題即応事業費	
地域の課題と現状		高齢・障害課障害者支援係及び精神保健係の窓口では非常勤職員や窓口対応職員が一人一人の用件を聞き取りその内容により担当に繋ぐ流れで対応しているが、その用件の聞き取りを待っていた状況があり混雑し、順番も混乱している状況が生じている。そのため、窓口サービス向上と混雑緩和に向けた取り組みが必要。							
予決算 (単位:千円)	年度	H30年度		R01年度		R02年度		R03年度	
		予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額
	事業費			556	556				
財源内訳	国庫支出金								
	市債								
	その他特財 一般財源			556	556				

計画 (Plan)	
事業の目的	目や耳の不自由な方や精神的に不安定な方等をはじめ来所者に対し、視認や音声呼び出しにより順番を待機していただく。窓口サービスの向上と混雑改善。
今年度の事業の取組内容	高齢・障害課障害者支援係と精神保健係窓口に順番表示システムを導入する。

実施結果 (Do)								
上記取組内容に対する達成度	3		1. 目標を大きく上回って達成 2. 目標を上回って達成 3. ほぼ目標どおり 4. 目標を下回った 5. 目標を大きく下回った					
取組内容の実績等	順番表示システムを導入したことで、順番の確認がしやすく窓口サービス向上に繋がった。また、障害者手帳をお持ちの方の交通サービスとしてバスのフリーバスやタクシー券の更新受付開始である3月は一日平均400人が来所したが、番号を発見し順番を表示することで混乱を避けることができた。							
数値で把握することが可能な取組	指標分類	指標		H30年度	R01年度	R02年度	R03年度	単位
	1	目標						
		実績						
	2	目標						
		実績						
3	目標							
	実績							
4	目標							
	実績							

評価 (Check)			
事業を取り巻く社会環境の変化	高齢化の進展による障害者自身の高齢化と、高齢化に伴い要介護状態となって障害者手帳を取得する方が増加している。身体障害者の3分の2が65歳以上の高齢者であり、家族の高齢化も進んでいる。そのため、窓口では、視認や音声呼び出し案内は有効。		
事業の見直し・改善内容	<input checked="" type="checkbox"/> 実施 (直近) 年度 <input type="checkbox"/> 今後実施(年度から)		
具体的な見直し・改善内容 ※過去に見直した履歴も記載できる場合は記載	高齢・障害課障害者支援係・精神保健係の窓口順番表示システムを設置し、窓口サービス向上に繋がった。		
評価項目		評価	
必要性	事業を取り巻く社会環境の変化等により、事業に対するニーズが薄れていないか	a. 薄れていない b. 薄れている	a
	評価の理由	障害のある方の高齢化、高齢化による障害者手帳の取得は今後も継続することが想定されており、窓口の環境整備は引き続き工夫が必要。	
有効性	活動結果(活動指標等)に対し事業の成果(成果指標等)は順調に上がっているか	a. 上がっている b. 上がっていない	a
	評価の理由	順番表示システムの設置により、窓口サービスが向上された。	
効率性	事業の成果を維持しながら、役割分担、契約方法、仕様の見直しなどによる経費削減や事務手続きの見直しなどによる事務改善の可能性がある。	a. 可能性はない b. 可能性はある	a
	評価の理由	順番表示システムの設置が令和元年度中に終了したため、今後の事務改善の可能性はない。	

改善 (Action)		
今後の事業の方向性	方向性区分	方向性
	I. 現状のまま継続 II. 見直し・改善のうえ継続 III. 事業終了	III
実施結果(Do)や評価(Check)を踏まえた今後の方向性 順番表示システムの設置により、障害を持つ方やその家族等に対して受付の順番や案内が分かり易くなり、座って待っていたことができている。今後は、区役所全体で利用している案内表示システムを検討していく。		